

[月刊]

2009. DEC  
平成21年12月10日

岩手よもっと  
元気になれ!

(財)いわて産業振興センター広報誌

Vol.

93

# 産業情報 いわて



CLOSEUP  
岩手力!

**株式会社モディー**  
事業利用企業紹介

報告

第5回いわてビジネスプラングランプリ 各賞決定  
5S実践基礎講座 ET2009組込み総合技術展

お知らせ

経済産業省と岩手労働局からのお知らせ  
下請かけこみ寺



CLOSEUP

# 岩手カ!

事業利用企業紹介

株式会社モディー

カーデザインという高度に洗練された技術を追い求め、そこで培ったノウハウを新たな商品開発に展開する。

販売で業を起こし、生産—技術開発—デザインと、ものづくりの流れを遡ってきた村上商会グループ。デザインから量産までをグループ内で賄える強みを活かし、独自のものづくり領域を確立している。



K08は、K07同様昨年のジュネーブモーターショーに出品され、また洞爺湖サミットにも出展されたEVスポーツカー。(K08は、株式会社KEN OKUYAMA DESIGNのデザインによるものです)

## ものをつくるデザイナーたち

工業デザイナー・奥山清行がデザインしたクルマをつくった会社、と聞けば、クルマファンならずともその会社の体質がおおよそ想像できようか。

今や世界的に注目される自動車デザイナーの一人、奥山清行のデザインによるスポーツカーがここで開発、昨年のジュネーブ国際モーターショーに出品された。村上竜也社長とは旧知だったと言うが、「猛獣（デザイナー）たちをうまく使って新たなデザインを生み出す猛獣使い」と囁かれる奥山清行からの開発依頼は、村上社長をはじめ、モディー（スタッフ）の創造性や開発力が自動車業界では広く知られていた証と言えよう。

「一流のデザイナーはいいデザインをします。もっと超一流になると、奇抜なデザインを描くけれども、どうやってつくるかという部分の解決方法までちゃんと知って描きます」

世界で超一流と称されるデザイナーたちはだいたいものづくりから入っている。

「デザイナーとして採用しても、うちではまず現場から入ります。塗りも磨き作業もやるし、モデリング、型取り、試作、そして実際にクルマに合わせ込むところまで一連経験してもらおう。自分でつくって、使ってみないとわからないんです。思い込み

でこだわって描いたデザインが、現場でどれだけ大変なのか。ちょっとしたことでコストが何百万円と違ってきます」

見わたせば、社屋の外壁も、事務所のテーブルも、照明も、壁も、みんな会社のデザイナーたちがデザインし、つくったものだという。

「デザイナーにとって大事なことは、本物をたくさん見て目を養うことと、いかに多くのものに手を触れるかです。手の感触による最後のひと撫でがデザインに命を吹き込むんです」

## ものづくりの系譜

ものづくりを重視する体質は、同社の生い立ちに起因する。

モディーを含む村上商会グループの起



社屋全体が社員のデザインによるもの





デザインルームは人間の頭脳とコンピュータとの静の空間

点である村上商會は昭和32年創業。一関市出身の村上圭佑氏（現会長）が東京・目黒でオートバイ部品の販売を始めた。帰郷の折り、金融機関から撤退企業の工場跡地を勧められて取得、ここからものづくりが始まった。日本が高度成長路線を突き進む中、つくれば売れた時代。業容拡大、カー用品量販店向けに部品をつくった。スケールメリットと裏腹に危うい場面にもしばしば遭った。そこから純正部品づくりに方針を転換する。メーカーからの注文ならば経営的に安定するだろうと。しかし、そのぶん技術水準を上げなければならない。そこで開発研究所をつくり、素材や工法の研究を始めた。できないところを外注に頼るのでなく、素材もいじり工法も工夫してものをつくる。より軽く、強く、早く、安く…。飛行機も、ボートもつくってみる。ときには素材メーカーに通常とは異なる配合で材料をつくってもらったり。周囲に外注できるところが無かったという事情もあるが、この時期、社内に本物のものづくり風土が培われ、ノウハウが蓄積された。

こうしていいものができるようになった。ところが今度は「これからはデザインだよ」と言う。そこで設立されたのが株式会社モディーである。



こんなクルマが走り回る時代も近い

## 「岩手」という強み

株式会社モディーの設立には県の高度化資金とふるさと創生資金が投入されている。

「我々の回りには東京を中心にフリーのデザイナーがたくさんいます。しかし、デザインはするけど、ものをつくれぬデザイナーもたくさんいる。その人たちに我々の生産技術、開発技術を使ってもらい、新しい商品開発をしよう」

この考えが受け入れられて有利な制度資金を受けることができた。

目論見通り、会社設立時には首都圏からものづくりを夢見るデザイナーたちがやってきた。やがて所帯を持ち一関に定住した者もいる。社員から県内の教育機関に言わば天上がって技術者を育てていて、その卒業生がまた入社してくるケースもあるという。

カーデザインという高度に洗練された技術が、徐々に岩手の地に根を広がっているのかもしれない。

それにしても、超都会的なカーデザインの拠点をこの地に設立した決断は何だったのか。実は、首都圏のような集積地ではデザイン情報が流出しやすいのだという。遠隔地ゆえの意外な岩手の強みを見た。

## 企業概要

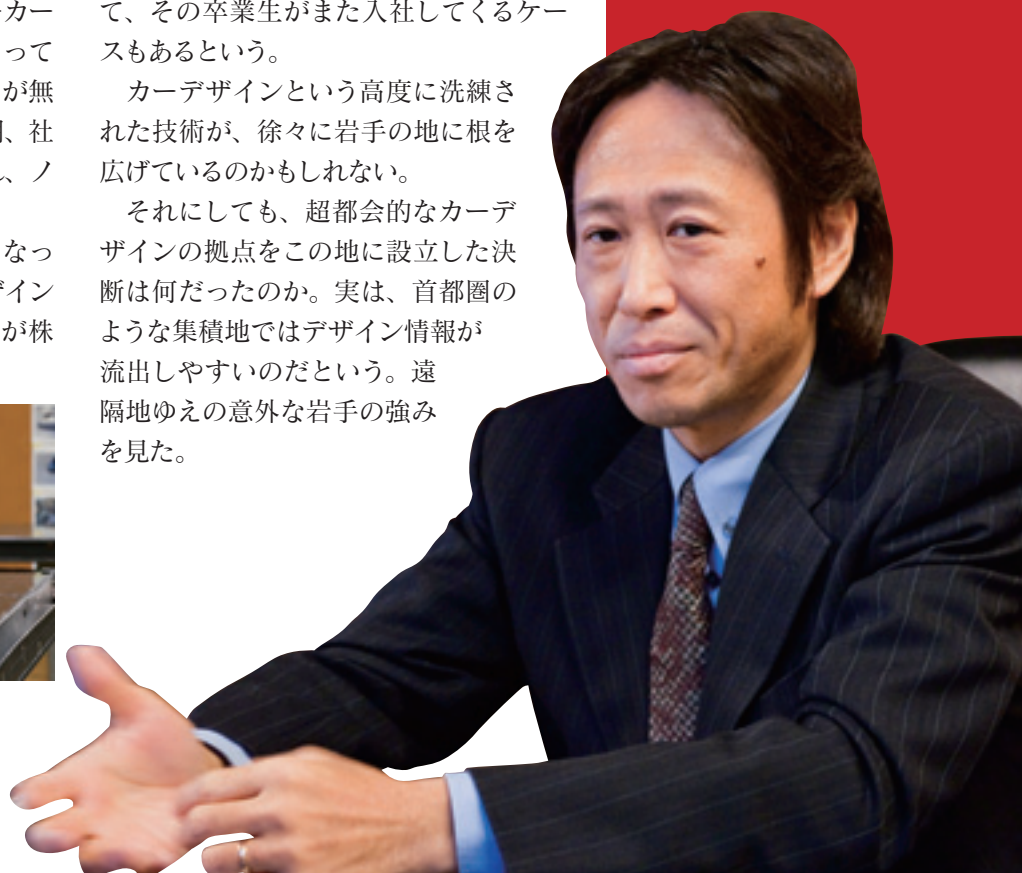
- 設立 1992年1月
- 代表取締役 村上 竜也
- 資本金 9,900万円
- 事業内容  
トランスポートデザインおよびプロダクト製品のデザイン・設計・試作・開発
- 所在地  
一関市字沢297-14  
電話 0191-23-4373
- 従業員数 約250名（グループ全社）
- グループ会社  
株式会社村上商會／株式会社ケイ・エム・アクト／株式会社エム・シー／株式会社オートマジカ／大興工業株式会社

URL <http://www.modi.co.jp/>

今月の表紙／デザインすることはものをつくること。つくって、使ってみて、また作り直しての作業をくり返す。未来のものづくりをデザインする若き精鋭たちの手はいつも何かのカタチに触れている。写真左から、千葉幸喜さん、阿部太郎さん、星宮祐樹さん、岩淵隆太さん、菅原修さん。

### 社長プロフィール／村上 竜也

1964年生まれ。父である創業社長の背を見て育った。事業継承を前に、会社に何が必要かを問うたら即座に「語学とコンピュータ」という返事が返ってきた。まだ自動車メーカーでも部品製造を本格化させていなかった時代、海外市場も視野に入れていた。その先見性に驚かされると言う。以来、職人技の世界を徐々にコンピュータ化し、第二世代を築き上げた。さまざまなものに興味関心を寄せ、次なる夢を追う。





## IWATE Business plan Grandprix

# 第5回いわて ビジネスプラン グランプリ

各賞決定!

### ビジネスプラングランプリ開催される

新たな事業の創出と発展を図る目的で、11月26日、当センター主催による「第5回いわてビジネスプラングランプリ」が開催されました。今年度から「高校生部門」も設けられ、よりグレードアップしたイベントとなりました。

応募のあった事業プランの中から、この日はスタートアップ部門4社、イノベーション部門4社、高校生部門7校8件の事業プランの発表が行われ、審査の結果、スタートアップ部門では株式会社リード(二戸市/衣料雑貨企画・製造)、イノベーション部門では株式会社ミナカワ(盛岡市/小売業)、高校生部門では宮古水産高等学校(宮古市)の事業プランが、グランプリに輝きました。

(株)リードは、帽子に「安全性能」の視点を持ち込み、小さな事故から災害まで日常生活に幅広く「安全・安心」を提供する「頭部保護帽子」が評価されました。(株)ミナカワは、独自開発した種菌を用い、生産・流通・販売の徹底管理による収益性の高いブランド椎茸の供給が評価されました。宮古水産高等学校は、利用度の低い海藻「すじめ」(地域資源)を活用した食品開発、地元企業から商品化を目指す事業が評価されました。

審査員より、「宮古水産高等学校のプランは、具体的な商品開発・製品開発、緻密な分析、今後の方向性がきちんとビジネスとして構築されている点、またプランとして動いているという点。(株)リードのプランは、安全・安心を裏打ちするような商品企画・商品開発であり、商品自体のターゲットを定めたマーケティング。(株)ミナカワは、生産・流通・販売の一貫した生産管理の仕組みが、ビジネスモデルとして非常に高い」との講評をいただきました。



## スタートアップ部門

### 事業プラン

頭部保護防止「ほっと安心帽」の  
開発・製造・販売

### 事業概要

帽子に「安全性能」の視点を持ち込み、小さな事故から災害まで日常生活に幅広く「安全・安心」を提供します。

### 株式会社リード

住所：二戸市米沢字家ノ上39-1  
HP：なし  
TEL：0195-23-5526



## イノベーション部門

### 事業プラン

生産・流通・販売の三つの徹底管理  
が実現する収益性の高いブランド椎  
茸(菌床)の供給

### 事業概要

独自の種菌と手法により椎茸栽培に革新をもたらし、新ブランドを確立、日本一の企業を目指します。

### 株式会社ミナカワ

住所：盛岡市本宮2-32-16-B  
HP：<http://www.minakawa-grp.co.jp/>  
TEL：019-656-5705



## 高校生部門

### 事業プラン

利用度の低い海藻を利用した食品の  
開発、及び地元企業からの商品化を  
目指す事業

### 事業概要

「すじめ」を使い、資源の有効利用及び水産業活性化につながるような製品開発と商品化を目指す取り組みです。

### 岩手県立宮古水産高等学校

住所：宮古市磯鶏三丁目9番1号  
HP：<http://www2.iwate-ed.jp/myf-h/>  
TEL：0193-62-1430



## 株式会社リード(二戸市)



株式会社リード  
戸泉 秀明氏

## 株式会社ミナカワ(盛岡市)



株式会社ミナカワ  
皆川 秀吉氏

## 岩手県立宮古水産高等学校(宮古市)



岩手県立宮古水産高等学校三年  
食品家政科の(左から)立花由佳さん・伊藤絵梨香  
さん・前田紫織さん

### 優秀賞(スタートアップ部門)

#### かまいし水産振興企業組合(釜石市)

- 事業プラン 食関連産業を一体とした6次産業の新市場開拓
- 事業概要 漁業生産者とともに釜石産の水産物消費拡大のため地元浸透と全国発信を同時進んで取り組んでおります。

#### 浄法寺漆産業(盛岡市)

- 事業プラン "Japan2.0." 本物の漆を世界へ
- 事業概要 日本一の漆産地の強みを生かし、「漆精製」を地元で行い、国内にとどまらず海外の販路開拓にも取り組みます。

#### 南部たこう焼幸房はっちやねん(八幡平市)

- 事業プラン いわてブランド構築事業  
～いわて粉ボレーションプロジェクト～
- 事業概要 いわての生産者・販売者・南部たこう焼および支援機関の  
コラボレーションで「いわて」を売ります!

### 優秀賞(イノベーション部門)

#### 有限会社早野商店(岩泉町)

- 事業プラン 食用ホオズキの6次産業化
- 事業概要 新食材として食用ホオズキを生産指導から販売までを一貫して行い、さらに人を呼べる特産品を目指しています。

#### 有限会社マイカープラザ(花巻市)

- 事業プラン ガソリン+LPGハイブリッド自動車への改造
- 事業概要 環境にも経済的にも優しく、新たな雇用の創造に寄与する  
新事業を提案します。

#### 株式会社ミッシェル(花巻市)

- 事業プラン 岩手県開発小麦を100%使用した「白半焼成パン」の開発・  
販売
- 事業概要 家庭用オーブントースター等を使用し、簡単に焼きたてフ  
ランスパンを味わうことができます。

### 優秀賞(高校生部門)

#### 岩手県立大東高等学校(一関市)

- 事業プラン 食地域活性化ビジネスプラン～復興からの地域おこしに挑戦～
- 事業概要 新岩手・宮城内陸地震から1年がたちます。高校生の取り  
組みを通して、頑張っているという姿をアピールします。

#### 岩手県立水沢商業高等学校(奥州市)

- 事業プラン 「ござえんちゃハウス」が発信する地産地消による商品開  
発と情報発信
- 事業概要 地元の活性化を目的に、高校生から見た視点で企画開発を  
行い、その実現に向けて活動する取り組みです。

#### 岩手県立宮古商業高等学校(宮古市)

- 事業プラン 商品開発による地域PRプロジェクト
- 事業概要 宮古市の地域資源を活用した開発商品の販売を通して、地  
域の魅力を広く発信することを目指しています。

### 敢闘賞(高校生部門)

#### 独立行政法人国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校(一関市)

- 事業プラン Webキャストを利用したブランド農畜産物の宣伝システムの運用
- 事業概要 農場の様子をWeb上でライブ配信することで、安心安全な  
食品を消費者に訴求するシステムを提供します。

#### 岩手県立釜石商工高等学校(釜石市)

- 事業プラン 低料金シャトルバスの運行による内陸・沿岸買い物客交流事業
- 事業概要 内陸の商業施設と釜石のイベント会場間にバスを運行し、双方  
の顧客増と地域活性化を図る策を提案します。

#### 岩手県立紫波総合高等学校(紫波町)

- 事業プラン メンズカフェ
- 事業概要 盛岡発! 男性専用のスイーツカフェ/新感覚スイーツカフェを  
提案します。甘党男性が一人で手軽に行けます。

#### 岩手県立紫波総合高等学校(紫波町)

- 事業プラン フードサーチ
- 事業概要 スーパーの買い物従来より「スピーディー・安全に・楽しく」。  
便利に検索できるシステムを提供します。

# 「5S実践基礎講座」成果報告会・概要紹介

当センターでは、本県のものづくり基盤を支える優れた産業人材を育成するため、製造業に特化した「いわてものづくりアカデミー」を開催しています。

その中でも「5S実践基礎講座」は、座学にとどまらず、参加企業が自社の工場現場で「整理・整頓・清掃・清潔・躰」の5S活動を行う実践的コースとなっており、この活動を通じて、参加企業の工場における問題の「見える化」とその問題を解決するための改善の実施を目的としています。

約5ヶ月間にわたる研修では、個別企業訪問指導や集合研修によるフォローアップを行うことにより、参加企業の5S活動を支援してきました。

## 活動内容

開催期間	5月27日～10月16日（約5ヶ月間）
受講企業数・受講者数	4社（株）飯島産業岩手工場、（有）センウッドコーポレーション、（株）デンロコーポレーション 東北ガルバセンター、ツインスターテクノロジー（株）三陸工場）・11名
講師	（財）日本生産性本部 主席経営コンサルタント 高田 晴弘 氏、武川 俊幸 氏
トレーナー	竹内真空被膜（株） 大松 好則 氏
サブトレーナー	（株）小山田工業所 中島 勝 氏、（株）ワイ・デー・ケー YDKメカトロニクス 菊池 英史 氏
集合研修（5/27）	5S改善の必要性、5S改善と見える化の進め方、5S事例研究、2S改善シート・改善実施プランの作成と発表 等
訪問指導 第1回（6/29～30） 第2回（9/2、10）	講師・トレーナー等の個別企業訪問による実践指導 （第2回はトレーナー及びサブトレーナーのみの指導）
フォローアップ（7/27）	各社の5S改善状況の中間報告とそれに対する講師・トレーナー等の指導

## 成果報告会概要

成果報告会は10月16日に、各社プレゼンテーション方式で行いました。報告会には受講者のほか上司なども参加し、その報告内容に真剣に聴き入っていました。各社それぞれ4～6テーマを掲げ、各テーマについて、①「まず何をやるか決める」②「実施」③「問題の発見」④「問題の検討」⑤「問題の解決」というプロセスを繰り返して取り組み、現場カイゼンの成果を上げることができました。以下に各社の主な成果を挙げます。

今後、各社ともこれまでの取り組みを継続・水平展開する等、更なるレベルアップを期待しております。

## 各社改善事例



改善前



改善後

**1. ミシン倉庫の整理整頓**（株）飯島産業 岩手工場  
⇒ unnecessary machines (大・小8台)を整理し、通路を2本確保するとともに新たに断ち置場を設置。在庫ミシンにカバーをかけた。



改善前



改善後

**2. ローラー棚の整理整頓**（有）センウッドコーポレーション  
⇒ 棚に表示をつけ、奥に置いていたものを手前に置き、必要な工具を姿置きにした。探す時間が1分→10秒に短縮



改善前



改善後

**3. 工具置場の整理整頓**（ツインスターテクノロジー（株）三陸工場）  
⇒ 必要工具のみを姿置きするとともに、置き場所を、当該工具を使用するリフターとした。工具棚分0.72㎡が活スペースとなった。



成果報告会の様子



# ET2009(組込み総合技術展)に出展

組込み技術の専門展示会である「Embedded Technology 2009/組込み総合技術展」が11月18日(水)～20日(金)の3日間、パシフィコ横浜において開催され総来場者数は22,117名を数えました。うちTOHOKUものづくりコリドーブースには3日間で約4,000名の方に来場をいただきました。

今年で4回目の出展となる「TOHOKUものづくりコリドーパビリオン」は35企業・団体に構成され、当県からは(株)マーフィーシステムズ、(有)エポテック、(株)イーアールアイ、(地独)岩手県工業技術センター、いわて組込みシステムコンソーシアム/いわて組込み技術研究会が出展し、最新の技術・製品・活動状況をPRしました。

## ■(株)マーフィーシステムズ

額縁に入った「インフォメーションディスプレイ」と広帯域の振動検知が可能な高感度感圧センサを搭載した「超微細振動モニタ」を展示しました。

## ■(有)エポテック

デジタルサイネージ用表示端末装置をGoogle Androidフレームワークにて実現するデモを行いました。

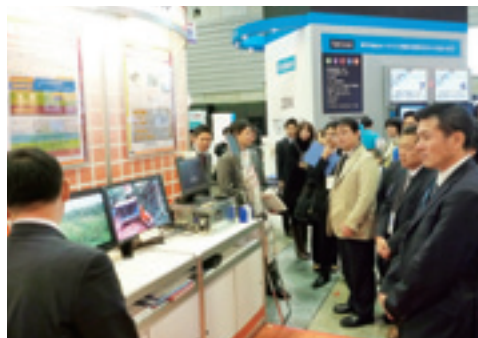
## ■(有)エポテック/ (株)イーアールアイ/ (地独)岩手県工業技術センター

動画画像圧縮標準規格H.264/AVC機器開発のためのFPGA組込み支援ツール(デコーダ)を展示しました。

## ■いわて組込みシステムコンソーシアム /いわて組込み技術研究会

活動状況についてパネル展示を行ったほか、県内企業のPRを行いました。

各社から具体的な商談ができたという報告があり、今後の商談結果に期待が持たれます。



解決サポート

## 下請かけこみ寺

取引上のトラブルなど  
随時ご相談を受け付けています。

**弁護士無料相談実施中!**

### かけこみ寺・移動相談所 (1月の開催予定)

【二戸会場】二戸広域観光物産センター なにゃーと3階	1月20日(水)	13:00~15:00
【久慈会場】久慈商工会議所	1月21日(木)	10:00~12:00

下請かけこみ寺相談、弁護士無料相談のお問い合わせ先  
TEL 019-631-3822 育成支援グループ 担当/伊藤・村上  
E-mail: joho@joho-iwate.or.jp

## ●平成21年度調査票提出促進運動

経済産業省（経済産業政策局調査統計部）が実施する各種統計調査は、国や地方公共団体の行政施策の基礎資料、商工業等における企業経営資料などに活用されています。

社会経済の急激な変化や国民生活の多様化などに伴い、経済活動の現状を正しく見極める指標として、統計の果たす役割は一層重要性を増しております。

経済産業省では、調査内容の見直し等により、報告者の記入負担の軽減に努めております。

信頼性の高い調査結果を早期に公表するため、皆さまの御協力をお願いします。

## ●政府統計オンライン調査システム

現在ご利用いただいております新世代統計システムは、政府統計オンライン調査システムに移行するため、平成22年2月に使用停止となります。政府統計オンライン調査システムに未移行の皆さまにつきましては、早期の移行にご協力をお願い申し上げます。

<http://www.meti.go.jp/statistics/>

## ●改正された岩手県最低賃金が発効！

岩手県最低賃金が、平成21年10月4日より時間額628円から**631円**となります。

**「必ずチェック最低賃金！ 使用者も労働者も 岩手県最低賃金 時間額631円」**

- すべての事業主は、その雇用する労働者（パート労働者・アルバイト等を含む）に最低賃金額以上の賃金を支払わなければなりません。また、最低賃金額を理由に一方的に労働者の賃金を引き下げることは許されません。
- 賃金額が、時間額631円を下回っている場合は、発効日から、時間額631円以上となるよう賃金額を改定する必要があります。
- 最低賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、賞与、時間外・休日・深夜手当等は含まれません。
- 岩手県の最低賃金には、岩手県最低賃金（地域別）の他、6産業別最低賃金が設定されています。



## 今年を振り返って

総合支援グループ  
中村 健

2009年を10年後に皆さんはどのように振り返るでしょうか。政治、経済とも大きな転換点の年になることに異存はないと思いますが、個人生活ではどうでしょう。

自動車、テレビ、インターネット、携帯電話のように生活スタイルに変革をもたらす商品・サービスは現れたでしょうか。

ちなみに10年前の1999年にNTTドコモがiモードのサービス提供を始めました。その意味では、今年はエコカー、特に電気自動車を特筆すべきでしょう。家庭で太陽光発電した電気を充電し、無料の高速道路で環境に負荷をかけることなくドライブを楽しむ。その元年になりそうな気がします。

一方、電気自動車のような衝撃はありませんが、いつの間にか変わっていることにも時々気がきます。例えば、街に中古品や古着を扱う店が増えています。リサイクルは静かながら大きな波になっています。

当センターは社会や消費動向といった環境変化を捉え対応する新ビジネスを支援しています。まずは、総合支援グループにご相談を。

今年、気になったニュースがあります。大人用紙おむつが赤ちゃん用を逆転したことです。10年後、そのユーザーになった私はこのニュースを思い出して2009年を懐かしむでしょう。いや、思い出せないでしょうね。